

12 海上保安体制の強化

～大型巡視船・大型測量船・新型ジェット機、続々就役～

近年、我が国周辺海域では、尖閣諸島周辺海域において繰り返される中国公船の領海侵入、日本海の大和堆周辺海域において後を絶たない外国漁船の違法操業等、厳しい情勢が続いています。



尖閣諸島周辺海域において中国公船（奥）を警戒監視する海上保安庁の巡視船

このような情勢の中、平成28年（2016年）の海上保安体制強化に関する関係閣僚会議で決定された「海上保安体制強化に関する方針」に基づき、海上保安庁は体制の強化を進めています。令和元年（2019年）12月には、4回目となる海上保安体制強化に関する関係閣僚会議が開催され、引き続き、海上保安体制の強化を進めることが確認されました。

また、令和元年（2019年）度には、同方針に基づき整備を進めてきたヘリコプター搭載型巡視船2隻、大型巡視船1隻、大型測量船1隻、新型ジェット機1機が続々と就役しました。就役した巡視船は尖閣諸島における領海警備、海難の救助、海上犯罪の取締りなどの業務に、測量船は我が国周辺海域で海底の地形や地質の調査などの業務に、新型ジェット機は東シナ海をはじめとする我が国周辺海域における監視業務や海難救助などの業務にそれぞれ従事しています。

海上保安庁では、国民の皆様の安全・安心を守るため、今後も体制の強化を進めてまいります。



ヘリコプター搭載型巡視船「しゅんこう」
鹿児島海上保安部所属
総トン数 6,000 トン・全長 140m



大型測量船「平洋」
海上保安庁海洋情報部所属
総トン数 4,000 トン・全長 103m